

# 鴨川市人口ビジョン及び鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の 策定に向けた市民等の意向の把握の状況

(アンケート調査)

## 1 高校生・専門学校生・大学生の進路及び定住に関する意識・希望調査

### (1) 調査の概要

調査対象	市内高校生徒、専門学校生及び大学生を対象として、地元就職や進路及び定住等に関する意識・希望を調査		
調査方法	各学校に依頼し直接配布及び回収(一部郵送回収)		
対象者数(配布数)	419 票配布		
	対象校・学部等	学年	人数
	千葉県立長狭高等学校・普通科	2	162
	文理開成高等学校・普通科	2	38
	亀田医療技術専門学校・看護学科	2	92
	亀田医療大学・看護学部・看護学科	3	80
	城西国際大学・観光学部・ウェルネスツーリズム学科	3	47
有効回収数	341 票		
有効回収率	81.4%		
実施期間	平成 27 年7月～9月		

### ② 結果の概要

#### ■ 進学・就職に関する希望

##### ○ 卒業後の進路について

- ・ 高校生は「大学への進学」が 39.0%と最も多いが、「就職」「専門学校等への進学」が、それぞれ 25.1%で続いている。専門学校生・大学生(以下、「大学生等」という)は「就職」が 92.2%を占めている。
- ・ 就職希望業種の中では「医療、福祉(保育園含む)」分野が 68.8%と突出しており、次いで、「宿泊業、飲食サービス業」が 25.9%、「公務」が 25.4%となっている。
- ・ 就職先の優先条件は、「収入が高い」が 67.7%で最も高く、次いで「やりがいがある」が 67.2%、「人間関係が良い」が 53.4%、「自分の能力が生かせる」が 30.2%となっている。

##### ○ 卒業後の居住地等について

- ・ 卒業後の居住地の希望は、「鴨川市内」が 35.8%で、「千葉県内(本市以外)」が 34.3%となっている。特に大学生等においては、「鴨川市内」が 51.3%と突出している。居住地として本市を選ばない理由は、「就職・進学したい企業や学校が市内にないから」が 43.8%と最も多く、次いで「楽しめる場所や施設が少ないから」が 29.2%、「他の地域の方が生活するのに便利だから」が 23.7%となっている。
- ・ 卒業後に「就職」を希望する者の就業地の希望は、「決めていない」という者が 23.8%と最も多いが、決めていない者の中では県外(東京等)が最も多くなっている。
- ・ 卒業後に「進学」を希望する者が、進学先卒業後に市内で希望する就職ができると仮定した場合は、本市に「住みたい」という者が 35.5%で「住みたくない」28.2%を上回っている。

○本市の居住環境について

- ・本市が住みやすいかの設問に対して、「どちらともいえない」が37.8%と最も多いものの、「大変住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を加えると32.6%となっており、「大変住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」の27.6%を上回っている。
- ・定住者を増加させるためには、「家を借りる際の家賃補助（期間限定）」が38.7%と最も高く、次いで、「学校授業料支援」38.1%、「子どもの医療費補助」30.5%、「保育費支援」29.0%となっており、学生向けの支援と子育て世帯への支援が求められていることがわかる。

(2) 結婚・出産・子育て、定住に関する意識・希望等市民アンケート調査

① 調査の概要

調査対象	住民基本台帳より抽出した18歳から49歳の市民を対象として、結婚・出産・子育て等に関する意識・希望を調査
調査方法	郵送配布・回収
対象者数(配布数)	1,000票配布
有効回収数	270票
有効回収率	27.0%
実施期間	平成27年7月～8月

② 結果の概要

■結婚に関する希望

- ・未婚者のうち結婚したいと考えている人は65.2%となっており、婚期は20代後半から30代前半と考えている人が65.7%となっている。ただし、現在交際相手がいない人が72.3%を占めている。
- ・結婚しやすい環境づくりに向け、雇用環境の改善や結婚に対する社会保障等の充実、出会いの場の提供が求められている。

■出産・子育てに関する希望

- ・理想の子ども的人数は2～3人が多く、平均は2.25人となっているが、現実的には2人が多く、将来の予定人数の平均は1.94人となっている。
- ・その要因としては、経済的な問題や年齢の問題が挙げられている。
- ・本市の子育て環境については、「どちらともいえない」が58.9%と最も多いが、「不満」「とても不満」が21.2%で、「とても満足」「満足」の12.2%を上回っている。
- ・出産しやすい環境づくりに向けては、経済的支援や産休・育休制度の充実を求める声が多い。
- ・子育てしやすい環境づくりに向けては、保育所等の充実、経済的支援、育児休暇の充実を求める声が多い。

■定住に関する希望

- ・本市に住み続けたいとする定住意向は47.4%と、非定住意向の18.5%を上回っている。
- ・定住を促進する環境づくりに向けては、子どもに係る経済的支援（医療費、保育費、教育費等）の充実を望む声が多く、次いで減税や住宅にかかる費用の補助が望まれている。